



「さっぽろっ子環境ウイーク」における SDGsアクション

宣言

「社会貢献活動から学ぶ食糧生産と環境」

中学校生活を通して行った、様々な活動から学びを得て、今日的な問題について生徒一人一人が深く考え、取り組んでいます。

計画

農業体験から、食の大切さや食・農・漁・畜産の繋がりを学ぶ。
森林や川や湖、ダムなどについて学び、地球に無理のない土地の活用について理解を深める。
地域清掃から、今日の環境の現状を知り、改善するにはどうすべきか考えをもつ。

SDGs アクション

「農業・環境改善運動から地球の食料や環境を考える」

- ・2年生では、宿泊学習で、農作業体験として田植えを行います。
- ・仲間と協力して、広い水田に稲の苗を植えていき、どのように育つのか、水田をどのように利用しているのか学びます。
- ・秋に農園より、自分たちが植えた苗から収穫したお米を届けてもらうことで、食料を生産し、食し、次年度の生産を考えるといった様に、食についての大切さや農・漁・畜産の繋がりを考え、持続可能な農業の取組について理解を深めています。
- ・1年生では、地域学習として清掃ボランティアを行いました。
- ・班の仲間たちと協力し、指定された地域の道路や公園等のゴミを拾い、私たちが普段使っている場所の中に潜む危険な所を見つけ出し、私たちの地域の問題点について考えています。
- ・活動を通して、自分たちの住んでいる新川という地域を清掃し、環境改善の取組の意欲をもってもらうことや、今日の現状を知り、良くしていくには、どうすれば良いか考えを深めました。



次年度の取組に向けて

- ・新型コロナウイルス感染症対策により、例年通り行うことができていなかった「ペットボトルキャップ回収BOX」を校内に設置し、ペットボトルキャップの回収活動を実施していきます。
- ・新川中学校で毎年行われている「新川募金」での募金の寄付先を、環境問題への取組を行っている団体に送ろうと、検討中です。